

微量の PCB を含む廃棄物の焼却実証試験の実施について 環境省



The Knights

環境省は、微量 PCB を含む廃棄物の焼却実証試験を実施することを発表しました。

PCB を使用していないと思われていたトランス等の中に、実際には微量の PCB が混入した絶縁油を含むものが大量に存在することが判明しており、環境省はこれらの処理体制の整備に向け、現在稼働中の産業廃棄物処理施設等において微量 PCB 汚染廃電気機器等が安全かつ確実に処理できることを確認してきました。

一方、平成 21 年 3 月に「中央環境審議会廃棄物・リサイクル部会微量 PCB 混入廃重電機器の処理に関する専門委員会」でとりまとめられた「微量 PCB 混入廃電気機器等の処理方策について」において、「今まで微量 PCB 混入廃電気機器等を対象として行われてきた実証試験により得られた技術的知見は、微量の PCB を含む他の廃棄物の処理にも応用できる可能性がある。この点を確認するための実証試験を更に実施することにより、PCB 廃棄物の処理体制を検討していくことが望ましい。」とされたことから、微量の PCB を含む廃棄物の焼却実証試験を実施することとしました。

今回実施された微量の PCB を含む廃棄物の焼却実証試験の内容は、以下の通りです。

- ・場所:株式会社クレハ環境
- ・期間:平成 21 年 12 月 23 日～12 月 25 日
- ・内容:数 10ppm 程度の PCB を含む廃棄物(廃活性炭、化学防護服など)を投入し、排ガス中の PCB 濃度等を分析することで、これらが適正に処理されていることを確認。燃焼ガスを 1100℃以上で 2 秒以上滞留させて実施。

環境省では今後も、協力が得られる他の施設において、焼却実証試験を実施していく予定としています。

当社では、絶縁油中の PCB 分析について多くのお客様からご依頼を頂き、多検体、短納期の体制で行っておりますので、是非お任せ下さい。

資料 2009 年 12 月 17 日付 環境省報道発表資料

クロマト分析箇所 神村悠介

